

事業計画書

2021 年度 第 8 期

一般社団法人アルバ・エデュ

1. 事業活動の現況

前期より、市原市の GIGA スクールアドバイザーに就任し、文京区以外では初となる、トップダウンでの教育改革に参加した。市内でのデモ授業が即座に校長会で情報共有されるなど、スピード感ある活動が出来たが、一方で教育委員会の担当者による横断的な組織形成が行われていたこともあり、今後社団独自で展開を広げていく上での課題も見つかった。また、4月より公教育部を立ち上げ、教員研修の提案活動が出来るようになったため、現場の先生、主任、校長先生など、管理職に当たる教職員との連携が広がってきた。

2. 今期の主な活動

8 期目となる 2022 年 5 月期に関しては、これまでの各学校単位の出前授業から、より波及力の高い教員研修への提案を強化し、更に自治体単位でのプレゼンテーションプログラム導入に最も注力する。

既存の活動を継続する他に、①自治体への教育コンサルティングの提案②学校単位での教員研修とデモ授業③広報活動により、理念を共有できるコミュニティの構築をすることを 3 本柱とする。

① 自治体へのプレゼンテーションプログラム導入の提案

市原市での活動をモデルとし、その他の自治体にも提案をする。提案内容や自治体へのアプローチについて現状 Bain&co.とプロボノ契約を締結し、これまでの契約先へのヒアリングと分析を協働で行う。

② 学校単位での教員研修とデモ授業

これまでの出前授業を「デモ授業」と位置づけ、各校がプレゼンテーションプログラムを自走するまでのデモンストレーションとして提供する。既存の出前授業先には、生徒への直接指

導から教員研修や講演会など、より波及力の高い方法へ切り替えるように促す他、校長会など地域の教員間で情報共有をする提案をする。

③ コミュニティ構築に繋げる広報活動

社団の活動を伝え、理念を共有できる人と繋がるための広報活動に注力する。特に今年は竹内明日香の出版を切掛けに、これまでの関係者以外の目に触れる機会が増加するため、新たな応援者の獲得に繋げる。有識者、教育関係者へのアプローチ、認定資格の申込、寄付金獲得などに繋げる。

以上